

「しまね学力向上プロジェクト」平成25年度事業計画 高校教育課

I. 学力向上に関する課題と方針

- 教科指導リーダーの育成と新学習指導要領に応じた教科指導力の育成
- 学校の枠を超え県全体で学力向上をめざす仕組みの構築と強化
- 地域貢献をめざす人材の育成

II. 事業内容

1 生徒パワーアップ事業 (学習意欲や進路意識の高揚・進路希望の実現)

○夢実現進学チャレンジセミナー

- 県政課題となっている医師等の将来の本県を支える人材を育成するため、生徒が医学部や難関大学・学部への進路希望を実現できるよう支援する。
- 2年生を対象としてサンレイクで8月上旬に3泊4日の合宿を行う。実績のある講師による講演、教科指導力に優れた力量を持つ県内外高校の教員による授業、島根大学医学部での実習、文系ワークショップ型授業等を行い、これらの取り組みを公開し、教員研修の場としても機能させる。

○学びの力向上チャレンジセミナー

- 大学進学希望を持っている生徒に、「働くこと」「大学進学」を考える場を与え将来の展望を明確にし、学びの意欲の向上を図る。
- 1年生を対象とする2泊3日の学習セミナー。
講演・講義・演習・パネルディスカッション・プレゼンテーション等により構成する。
- 高校におけるキャリア教育・教科学習のあり方を模索する事業として、教員研修の場としての位置づけも持たせる。

2 教員パワーアップ事業 (指導力向上・授業改善・リーダー養成)

○教科チーム養成事業

- 若手・中堅教員の教科指導の課題を共有し、県外指導教員や県内ベテラン教員の助言を聞き、指導方法、教材及び評価方法等を協議して、授業の質の向上を図る。
- しまねの生徒を共に育てるという「チームしまね」の意識の高揚を図る。
- H25年度は英語、商業で行う。

○教科リーダー養成事業

- 授業力向上を図るうえで、教科のリーダーとなる教員を養成するため、専門的知識・技能及び実践的指導力と授業研究の能力の向上を図る研修を計画的に実施する。
- 教科指導に意欲や情熱をもって取り組んでいる、国語・地歴公民・数学・理科・英語を担当する中堅教員（各2名 計10名）を対象とする。
- リーダー教員と指導教員による、実践発表、研究授業などを通して、各校の学力向上・授業改革を図るうえで必要な情報の共有化を図る。

3 学校パワーアップ事業 (指導システムの改善・強化)

○中高連携ステップアップ事業

- 中高の教員が合同で橋渡し教材を作成したり、相互に研究授業を行ったりすることを通して、中学校・高等学校間の教科指導の連携のあり方について研究する。また、講演会を実施し、地域・保護者・学校の連携を図る。
- 2校（2地域）を指定する。
- 中学校・高校教員が一堂に会し、研究授業を通して中学校の学習事項が高校の学習ではどのように発展するかを明らかにし、授業力を高め生徒の学力向上を図る。

○チームしまね進学対策事業

- センター試験の解答状況調査に基づく進指協・高教連等の協力によるセンター試験研究を支援する。
- 合否状況調査に基づく進指協主催による進学指導研修の支援を行う。
- H25年度は物理、化学、生物、世界史、日本史で行う。

4 理数教育支援事業 (理数教育の強化・理数系志望者のキャリア教育)

○「科学の甲子園」支援事業

- 学校対抗理数・科学技術系コンテスト「科学の甲子園」出場校県選抜大会を開催する。
- 大会にあわせて理科教育振興のため、県外講師による講演を行う。